

映画「9-NINE-」
講演 自民党改憲草案がめざす日本---浜田章作さん

映画と講演のつどい



8月27日(土)

午後1時30分~

境港市民会館
大会議室(2F)

映画「9-NINE-」は、9条を守ろう映像プロジェクトが製作したもので、大江健三郎氏や澤地久枝さん、小田実氏、朴慶南さんなど多数の知識人が登場、また「戦争のつくり方」も紹介。俳優の根岸季衣さんが朗読しています。

講演は、鳥取短期大学助教授浜田章作さん(麦垣町)に、発表されたばかりの自民党憲法草案を読み解いていただきます。ご期待ください。

参加費:無料

あなたは また！ 戦争を したいですか

自民党新憲法起草委員会(委員長・森喜朗副首相)が一日、「自衛軍を保持する」とした「新憲法第一次案」を発表しました。

そこでは、「陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない。国の交戦権はこれを認めない」としてきたこれまでの憲法9条2項をけずり、「侵略から我が国を防衛し、国家の平和及び独立並びに国民の安全を確保するため、自衛軍を保持する」というのです。

また、自衛軍は「自衛」活動のほか、「国際貢献」や「秩序維持」の活動をおこなうとするのだと言っています。

いざとなれば戦争も辞さない、そのための軍隊をもつ！というのです。

それがほんとうに、日本とアジアの平和にとって、正しい道でしょうか。

あなたは
どう

思われますか・・・

私たちには
気になることが
いくつもあります



「国際貢献」といいますがその「国際」ってアメリカのことでは？

かつて日本軍に父や母を殺されたアジアの民衆は、不安を募らせています。かえってアジアの緊張激化になるのでは？

憲法九条を生かした平和外交こそ大事なんでは？
誰が言い始めたの？ 世論調査では「憲法まもれ」が過半数なのに・・・

境港九条の会

連絡先 岩本泰蔵 中野町5083 電話 44-2574



7月30日には東京・有明コロシアムで、九条の会講演会が開かれ、9500人が参加。よびかけの三木睦子、鶴見俊輔、小田実、奥平康弘、大江健三郎、井上ひさしなどが講演、また作家の澤地久枝氏もビデオで参加し、それぞれの言葉で9条を語り、参加者に、「憲法は守れる」の勇気と感動を与えました。

「憲法九条をまもろう」の声

全国で
境港で

「戦争は二度としない」という憲法9条をなくす：「改憲」の動きが、「時代が変わった。議論をするのは当然だ」などというマスコミの世論誘導も激しく急を告げています。

これに対し、昨年6月、大江健三郎、小田実、井上ひさし、澤地久枝、三木睦子など日本の知性と良心を代表する知識人のよびかけで発足した「九条の会」が、憲法をまもる運動を全国に燃え上がらせています。

全国各地に、思想・信条・宗教の違いを超え、憲法九条を守るといふ一点で組織された「九条の会」は3000を超え、「日本をふたたび戦争する国にさせない」と、幅広い運動を進めています。

国民の過半数が
反対すれば
憲法はまもれる

憲法を変えるには国民投票で過半数の賛成が必要です。国会では改憲勢力が多数でも、国民投票で国民の過半数が反対すれば、世界に誇る平和の宝「憲法9条」を守ることが出来ます。

あなたも一緒に運動を広げようではありませんか。

2005年8月

境港九条の会



結成集会・2月26日・市民会館

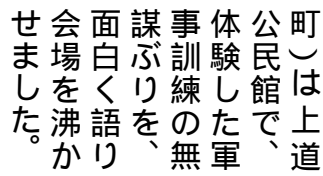
境港市でも、80名を超える市民のよびかけで、2月26日、126名の市民が参加し、「境港九条の会」が発足。講演会や署名運動、Peace 9 Cafe など楽しいことも織りまぜて活動を広げています。

つらい戦争体験を
語り、聞き・・・

このなかで多くの市民が、重い口を開いてつらい戦争体験を語りはじめ、「二度と戦争する国にしてはならない。九条をまもろう」との声を広げてあっています。



井上小夜子さん(上道町)は、結成総会で「これまで家族にも話せなかつたが、このままでは死ねない」と、引揚げのとき目撃した関東軍兵士による朝鮮人虐殺事件を話されました。



画家の本池孟さん(上道町)は上道公民館で、体験した軍事訓練の無謀ぶりを、面白く語り会場を沸かせました。



7月30日の集まりで里見紀久子さん(松ヶ枝町)は、市街地の3分の1を焼き尽くし、死者115人をだした玉栄丸爆発の悲惨な体験を語りました。

私の発言



戦時中、私は呉海軍工廠に学徒動員されました。職場から徴兵されていた若い工員たちは、戦地へ配属され人間爆弾となつて散つてゆきました。

小学校教科書が、いつのまにか「ススメ、ススメ、ヘイタイススメ」と変り、戦争は音もなく忍び寄ってきました。教育は一步誤れば武器ともなります。日本とアジアの何千万人の命の果てにつくられた憲法、世界に誇る「九条」を、絶対に守らなければなりません。変えられてからでは遅いのです。いまが大事なのです。

松本一江(元町)



全世界の子どものために、私たちの心が心配です。今も昔も変わらない真摯なまなざしを投げかけてくるこの子どもたちは今、何を望んでいると思いますか？

人を痛めつけ仕返しして争いを続けることでしょうか？

やられる前にやり返す準備をして、あの戦争をもう一度繰り返すことでしょうか？

もう一度、子どもたちをよく見てみましょう。

戦争を体験した人々の心の内を少しでもわかる私でありたいと思っています。

藤原摂子(湊町)



平和憲法を守るという一点で境港九条の会は結成されました。

平和憲法を守ることに

和を実現する歩みに直結しているとは信じています。

「私一人が何かをしたところでどうにもならない」とあきらめることは簡単です。しかし、一人ではなく多くの日本人が平和を愛し、平和憲法を誇りに思っていることが、様々な場面で明らかになっています。

今、私たちがなすべきことは、平和を愛する思いを明らかにすることです。ぜひ集会にご参加ください。

草地大作(中野町)